



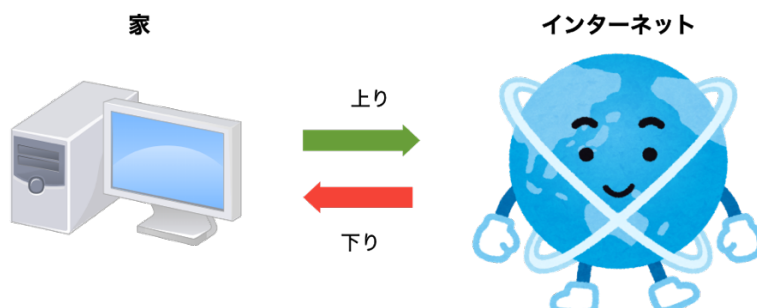
■ インターネットの「上り」と「下り」

「インターネットが遅い」と感じるがありますが、リモートワークを進める上で知っておきたいことの一つが

インターネットは上りと下りでスピードが違う(かもしれない)

ということです。

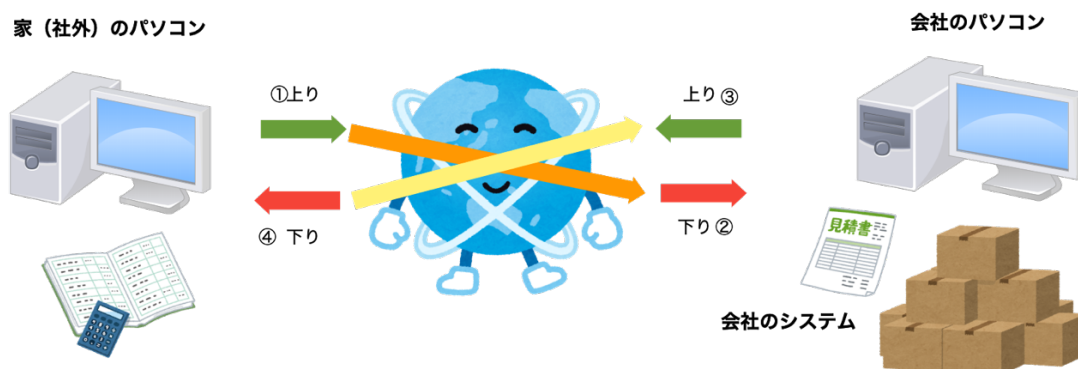
インターネットに「データを送るのが上り」、「データを受け取るのが下り」です。



たとえば、NTT の「フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ」の仕様をみると、「下り:最大 200Mbps、上り:最大 100Mbps」と書いてあります。(https://flets.com/next/fm/index.html)

家庭用のインターネットの速度は、昔から「**非対称(上りと下りの速度が違う)**」ようになっているのですが、理由は(多分)「**昔のインターネットは見るばかりだったから**」と思います。「SNS で動画をシェアとかなかった時代の名残」いうことですね。

下の図は、**リモートワークで発生する通信**です。家から会社に接続して画面を操作する場合、図の①から④の順で通信が発生します。



画面の操作中、①から④の通信は「**グルグル回ります**」。

問題は、このとき「**通信速度は一番遅いところで上限値**」が決まってしまうことです。先ほどのフレッツの場合には、会社に1ギガが入っていても最大 100 メガになってしまうわけです。

「リモートからの画面操作」は比較的「データ量の多い通信」で、かつ「リアルタイム通信」ですから「**通信速度が遅い=すごいストレス**」になってしまいます。

これに対してビジネス向けのサービスは「**対称**」になっているのが普通です。NTT の「フレッツ 光ネクスト プライオ」に仕様をみると送受信:1Gbps になっています。(https://business.ntt-east.co.jp/service/prio/)

リモートワークを推進する際に一度ご利用中のサービスを確認いただくのが最善です。